

令和6年度

学生募集要項

社会人特別選抜

令和5年5月



目 次

I	秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等	1
	・システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
	・生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
II	社会人特別選抜 学生募集要項	
	1 募集人員	4
	2 出願要件	4
	3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	5
	4 出願期間および出願方法	6
	5 選抜方法	9
	6 合格者発表	10
	7 入学手続・初年度納付金等について	10
	8 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について	12
	9 入学試験成績の開示	15
	10 個人情報の取扱いについて	16
	11 試験場案内	16

I 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標をもち、実現に向け思考し判断して行動し、その成果と課題を的確に表現する力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもって主体的に行動し、多様な人々と協働して学び続ける力をもっていること

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【順次性・体系性を重視したクサビ型カリキュラム】

専門の知識・技術およびそれらを活用する力と、グローバルな視点、幅広い教養と基礎的能力を育成するために、教養科目と専門教育科目の体系的な教育課程を編成する。その際、1年次から専門教育科目を配置するとともに、3・4年次においても教養科目が履修できるクサビ型カリキュラムを採用する。

【多様な教育方法による資質・能力の育成】

実践的な知識・技術、問題を発見し解決する力と創造力を育成するため、演習・実験・実習を重視した教育課程を編成するとともに、卒業研究を実施する。また、社会で必要となる協調性・責任感や生涯学習能力を育成するため、少人数による能動的な学修および多様な教育方法を組み合わせた授業を行う。

【単位制度の実質化と厳格な学修成果の評価】

登録単位数の上限設定を通して十分な学修時間を確保するとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいた成績評価を行う。

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、現代社会が直面する諸問題を解決することを目指して、以下の能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解・技術】

1. 各専門分野の知識・技術を習得し、活用する力を身につけている

【教養・基礎的能力】

2. 幅広い教養と、外国語能力、情報活用能力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を身につけている

【態度・志向性】

3. 多様な価値観を有する人々と倫理観・責任感をもって協働することができる
4. 時代の変化に主体的に対応するため継続的に学び、自律的に行動することができる

【問題発見・解決能力】

5. 専門の知識・技術および基礎的能力を統合し活用して、問題を発見し解決する能力を身につけている

【グローバル・創造的思考力】

6. 地域的・国際的視点をあわせもち、また、新たな価値を創造する力を身につけている

※このページの記載内容は全学のもので、学部、学科の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）については2・3ページで確認してください。また、学部、学科の詳細な教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については本学ホームページを参照してください。

システム科学技術学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

※注) システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

機 械 工 学 科	①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	①数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ②情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

【入学者選抜の基本方針】

システム科学技術学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを、多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、公平かつ厳正に入学者を選抜します。

そのため、提出書類による審査に加え、個別学力検査等として面接（各学部学科に求められる科目の基礎学力に関する試問を含む。）と小論文を行い、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）を評価し選抜します。

生物資源科学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

応用生物科学科	①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生物生産科学科	①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人
生物環境科学科	①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ②自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人 ③自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人
アグリビジネス学科	①生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人 ②次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人

【入学者選抜の基本方針】

生物資源科学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを、多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、公平かつ厳正に入学者を選抜します。

そのため、提出書類による審査に加え、個別学力検査等として面接（各学部学科に求められる科目の基礎学力に関する試問を含む。）と小論文を行い、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）を評価し選抜します。

II 社会人特別選抜 学生募集要項

1 募集人員

学部名	学科名	募集人員
システム科学技術学部	機械工学科	若干名
	知能メカトロニクス学科	若干名
	情報工学科	若干名
	建築環境システム学科	若干名
	経営システム工学科	若干名
生物資源科学部	応用生物科学科	若干名
	生物生産科学科	若干名
	生物環境科学科	若干名
	アグリビジネス学科	若干名

2 出願要件

次の (1) から (6) のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者
- (2) 令和5年4月1日現在において満23歳以上の者
- (3) 社会人としての3年以上の経験を有し、大学において学ぶ意欲と問題意識および具体的な学習計画を持つ者
- (4) 次の①から③のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者
 - (a) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (c) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (d) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - (e) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - (f) 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者
- (5) システム科学技術学部においては高等学校または中等教育学校で英語を履修していること。生物資源科学部においては TOEIC (L&R) 公開テストで385点以上の者
- (6) 合格した場合には入学を確約できる者

出願資格(4)3(f)により出願を希望する者は、次の期間に本学の入学資格審査を受け認定された場合のみ出願が認められます。申請方法など詳細については、本学ホームページを参照してください。

◎申請期限

令和5年10月20日（金）午後5時必着

◎申請先および問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談を行うようにしてください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに相談してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、事前相談で希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。相談先は、システム科学技術学部を志願する者は本荘キャンパス、生物資源科学部を志願する者は秋田キャンパスとなります。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合についても、速やかにご相談ください。なお、事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務づけられるものではありません。

- ・事前相談期限 令和5年10月27日（金）午後5時まで（土・日・祝日・夏季休業日を除く。）

4 出願期間および出願方法

(1) 出願期間

令和5年11月6日（月）から11月10日（金）午後5時まで **※必着**

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には、郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。

(3) 入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

(4) 出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(5) 出願書類

次の書類をすべて提出してください。

一連番号	書類名	摘要
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票（※「本人控え」は、入学志願票ではありません。）を印刷して提出してください。
2	調査書	①文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過等により、調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿をもって調査書に代えることができます。 ②高等専門学校3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、①に準じて提出してください。 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者および高等学校卒業程度認定試験合格者または大学入学資格検定合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格し、一部の科目を高等学校等で修得している者は、当該学校の成績証明書も併せて提出してください。 (注) 調査書は、発行日が令和5年4月1日以降のものを提出してください。
3	履歴書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
4	志望理由書	本学所定の様式にシステム科学技術学部を志望する者は1,600字程度、生物資源科学部を志望する者は800字程度で志望理由を記入し提出してください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願期間外に本学に届いたものは受理しません。
- ② 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので注意してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願書類受理後令和5年11月15日よりインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので印刷してください。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額*
(ア) 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	17,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に納付した場合	17,000円

*実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和6年2月22日（木）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法

出願書類審査、志望理由書、小論文および面接を総合して判定します。

(1) 試験期日、時間割

① 試験期日

令和5年11月25日（土）

② 時間割

学 部	時 間	試 験 項 目
システム科学技術学部	午前10時～午前11時30分	小論文
	午後0時30分～	面接（時間は指定します。）
生物資源科学部	午前10時～午前11時30分	小論文
	午後0時30分～	面接（時間は指定します。）

(2) 試験場

① システム科学技術学部志願者：本荘キャンパス（由利本荘市）

② 生物資源科学部志願者：秋田キャンパス（秋田市）

(3) 面接の内容

① システム科学技術学部

面接では志望理由書の内容や学部学科に対する興味関心、大学での学習や将来への意欲などを評価します。また、理科、数学について口頭試問を行います。理科は物理基礎（経営システム工学科では物理基礎または化学基礎）の内容です。

② 生物資源科学部

面接では志望理由書の内容や学部学科に対する興味関心、大学での学習や将来への意欲などを評価します。また、理科（化学基礎および生物基礎）について口頭試問を行います。

(4) 配 点

学部	小論文	面接	合計
システム科学技術学部	300点	700点	1,000点
生物資源科学部	500点	500点	1,000点

(5) 受験上の注意事項

① 受験者は、小論文試験開始30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。また、面接の際は、指定時刻までに決められた控室に入室し、着席してください。

② 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

③ 原則として、途中退室は認めません。

④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

⑤ 小論文試験および面接のいずれかを受験しなかった場合は、入学者選抜の対象から除きます。

⑥ 当日は、受験票、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを必ず持参してください。

⑦ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてくださ

い。また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も保管してください。

- ⑧ 受験票は、小論文試験実施時には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑨ 試験時間中に電子機器類を使用すると不正行為となります。身に付けていたり手に持っていたりするだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑩ 小論文試験中に使用を許可するものは、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの）に限ります。これら以外のものを使用した場合は、不正行為となることがあります。
- ⑪ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑫ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和5年12月6日（水）午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続・初年度納付金等について

(1) 入学手続期限

令和5年12月15日（金）午後5時必着

(2) 入学手続方法

入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(3) 初年度納付金

① 入学料

ア 金額

秋田県内の者 282,000円

上記以外の者 423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法

合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。

高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている場合、入学手続時に入学料を納付し、入学後に返還となります。納付の猶予はできませんので注意してください。なお、高等教育の

修学支援新制度に伴う返還や本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

ウ 大学等における修学の支援に関する法律に基づく入学料の減免について

大学等における修学の支援に関する法律に基づき、入学料の減免を希望する場合、入学手続期限までに①に示す入学料を納付してください。入学後、審査を行い、減免対象となる場合には指定の口座に返金します。

② 授業料

ア 金 額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期（納付期限 4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

8 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対して高等教育の修学支援新制度に基づく授業料の減免制度があります。

支援要件として、高等学校等の卒業時期等の制限があるため、詳細は高等教育の修学支援新制度についてご確認ください。

(2) 奨学金

- ① 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金や高等教育の修学支援新制度についての詳細は、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。
- ② この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の特待生制度があります。

① 入学生特待生

大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験し、以下の要件を満たした場合、年間授業料相当額（535,800円）を4年間、奨学金として給付します。（ただし、学業成績の結果により2年次以降の奨学金が停止される場合があります。）

（認定要件）

秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者

- ①すべての選抜区分の入学者において、大学入学共通テストの得点率*が、システム科学技術学部および生物資源科学部の各学部で最上位の者
- ②総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が70%以上である者
- ③一般選抜により選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が75%以上である者

※13ページの〈本学の一般選抜で各学部が定める5教科7科目または5教科8科目〉の得点率です。ただし、総合型選抜および推薦選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者の場合は、「成績通知書」を提出した者に限ります。

※ 認定要件①および②に該当する者で入学生特待生を希望する者は、次のページの〈本学の定める大学入学共通テストの教科・科目、配点〉を確認できる「成績通知書」の提出が必須となります（一般選抜を除く。）。大学入学共通テストの出願時に成績開示手数料を検定料と併せて払い込んでください。なお、入学後は大学入試センターから送付される「成績通知書」を本学のアドミッションチームに提出してください。

本学の定める大学入学共通テストの教科・科目、配点

システム科学技術学部				
教科	グループ	科 目	配 点	
国 語		「国語」	100	
地理歴史		「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」	左記の10科目から1科目選択 100	
公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」		
数 学	①	「数学 I ・ 数学 A」	100	
	②	「数学 II ・ 数学 B」、「簿記・会計」 「情報関係基礎」	左記の3科目から1科目選択 100	
理 科	①	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択 100	
	②	「物理」	100	
	または			
	②	「物理」		100
		「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から1科目選択	100
	◎ 理科については上記に加え、 <u>経営システム工学科</u> を志望する者に限り、次の科目による受験も可能とします。			
		グループ	科 目	配 点
	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択	100
②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から1科目選択	100	
または				
②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から2科目選択	200	
外 国 語		「英語」(リスニングを含む。)	リーディング 100 リスニング 100	

※「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択する者は当該単位の取得を条件とします。

生物資源科学部				
教科	グループ	科 目	配 点	
国 語		「国語」	100	
地理歴史		「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」	左記の10科目から1科目選択 100	
公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理, 政治・経済」		
数 学	①	「数学 I ・ 数学 A」	100	
	②	「数学 II ・ 数学 B」	100	
理 科	①	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択 100	
	②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	左記の4科目から1科目選択 100	
	または			
	②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	左記の4科目から2科目選択	200
外 国 語		「英語」(リスニングを含む。)	リーディング 50 リスニング 50	

【両学部共通】

(注)「英語」について大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点をシステム科学技術学部では200点、生物資源科学部では100点とします。

② 在學生特待生

入學生特待生を除くすべての本學在學生（1年生を除く。）を対象とし、前年度の通期學業成績が優秀である者の中から選考し認定を受けた者を「在學生特待生」と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

(4) 後援会

本學には、學生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。後援会は、學生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入學生を対象として「學生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職講座の受講等への助成等を行っています。

後援会費は4年間で50,000円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続と併せ、入会の手続きをお願いします。

(5) 學生寮

① 概要

本學には、次のとおり生物資源科学部・研究科の學生を主な対象とした學生寮があります。

寮名	清新寮
収容人数	男子120名 女子120名
施設概要	鉄筋コンクリート7階建 男子2～4階 女子5～7階
居室形態	完全個室（風呂、トイレ共用） 冷暖房完備 フローリング6畳、ベッド台・机・クローゼット備付
寮費（月額）	50,000円 平日2食、土日祝日3食付 光熱水道代込み
所在地	秋田県南秋田郡大瀧村字南2-2 大瀧キャンパス内 (秋田キャンパスからは30キロメートル程離れています。)

② 通学方法

學生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。(授業期間1日7往復、長期休暇期間1日2往復程度、いずれも平日のみ)。

シャトルバス以外の通学方法としては、南秋地域広域マイタウンバス（1日5往復程度）とJRを乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する書類は合格通知書送付の際に同封します。

募集人員については、各選抜区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選となります。

結果については申請受付締切日以降、順次書面にてお知らせする予定です。

入寮基準

《自宅からの距離・時間》

住居地が秋田キャンパスより60キロメートル以上離れている、または片道1時間30分以上かかること。

《経済的理由による入寮希望について》

経済的理由により入寮を希望する学生で、本学が定める授業料減免申請基準を満たす者については、部屋が空いている場合は優先的に入寮を許可します。

【学生寮に関する問い合わせ先】

秋田県立大学学生チーム（秋田キャンパス） TEL：018-872-1519

(6) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等を行っています。

9 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、本人に限って、口頭による簡易開示請求によりその場で閲覧することができます。ただし、合格者が10名に満たない学科については不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず本学の受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に問い合わせ先までご連絡ください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間（土・日を除く。）※受付時間：午前9時～午後5時

④ 開示場所

【システム科学技術学部受験者】秋田県立大学アドミッションチーム（本荘キャンパス）

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL：0184-27-2100

【生物資源科学部受験者】秋田県立大学アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535

⑤ 問い合わせ先

秋田県立大学アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535

10 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

- ① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。
 - ・入学者選抜
 - ・合格者発表
 - ・入学手続
 - ・次年度以降の学生募集
- ② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- ③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。
 - ・教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
 - ・学生支援関係業務（奨学金申請等）
 - ・授業料徴収業務
- ④ 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

11 試験場案内

【本荘キャンパス（システム科学技術学部）】

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL：0184-27-2100 FAX：0184-27-2180

- ・秋田空港から車で約50分
- ・秋田駅から羽後本荘駅まで JR で約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分
- ・羽後本荘駅から徒歩30分

【秋田キャンパス（生物資源科学部）】

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL：018-872-1535 FAX：018-872-1670

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅まで JR で約15分、追分駅から徒歩20分
- ・秋田駅から五城目線、追分線バスを利用してバス停「追分三叉路」まで約40分
- ・バス停「追分三叉路」から徒歩15分

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術学部

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム（本荘キャンパス）

TEL 0184-27-2100

FAX 0184-27-2180

生物資源科学部

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

（右記のQRコードからアクセスできます。）

